

# 総括質問

今定例会では、11人の議員が議案や市政を問う「総括質問」を行いました。各議員の詳しい質疑内容は、市議会ホームページの議会中継（録画放送）をご覧ください。

★質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています。

## 議長ダイアリー

平塚市議会議長  
府川 正明



議長の出席した主な会議などをお知らせします。(2月~4月)

- 2月4日 湘南地方市議会議長会
- 2月5日 都市行政問題研究会第103回総会
- 2月8日 内外情勢調査会
- 2月19日 全国市議会議長会第155回社会文教委員会
- 4月11日 内外情勢調査会、リニアア共和国オリンピック委員会委員歓迎レセプション
- 4月25日 神奈川県市議会議長会第196回定例会
- 4月26日 関東市議会議長会第82回定期総会

## 清風クラブ

### 「夢ある未来」平塚を創る

片倉 章博 議員



### 高齢者がいきいきと暮らすまちづくり

在宅介護の課題は多く、医療と介護の連携推進や介護サービスの充実、地域の見守りなど、心身の負担を軽減するための生活支援が重要である。現在の高齢化率と平成37年の予測を伺う。

**福祉部長** 27年1月現在の高齢化率は25.4%であり、37年は28.3%になると予測している。要介護者や認知症高齢者も増加し、在宅介護サービスや入所施設の不足、介護保険料の高騰などが危惧される。

**問** 町内会役員や民生委員、地区社協など地域の高齢化も進み、負担感がある。職員や嘱託員を地域へ派遣する考えはあるか。

**福祉部長** 地区社協から負担の大きさは聞いているが、

行政誘導による企業移転など優遇策を検討しているか。

**まちづくり政策部長** 市街地調整区域の農地を守りつつ、雇用創出の観点から、市街地の商業地域で、敷地の共同化により高い建物を建てやすくした。低層階に店舗、上層階に住宅となる建物の誘導を行い、居住の促進やにぎわい創出を目的に見直した。パルロードやスターモールなどの商店街へ店舗の集積を図った。明石町の一部で、低層階への商業施設の設置規定をなくし、共同住宅の供給によるまちなか居住を推進した。

**問** 優良建築物等整備事業の範囲を平塚駅南口周辺へ拡大するのか。

**まちづくり政策部長** 都市計画高度地区の運用基準などの見直しに伴い、事業の対象エリアを拡大した。駅南口周辺の商業地域で容積率500%の区域も含むことになった。

**問** 産業系土地の誘導施策の事情に応じた土地施策や



### 安心・安全なまちづくり

須藤 量久 議員

### 水害対策について

国・県・市の役割分担と連携が重要である。河川整備について進捗状況と取り組みを伺う。

**防災危機管理部長** 相模川の堤防整備率は、平成27年末で約78%である。現在、右岸では、四之宮地区の堤防整備工事を実施している。左岸では、須賀地区の堤防整備を進め、今年度末には約4割が完成する予定であり、今後は国道1号下流部の堤防整備を進めると聞いている。金目川の上平塚地区の堤防工事について、30年度からの着手に向けた説明会を開催するなど手続きが進められている。



### シティプロモーション

黒部 栄三 議員

**問** プロモーションビデオは特色あるものでなければいけないと思うが、「平塚イメージングストーリー」はインパクトがなかった。

**企画政策部長** ビデオは、インパクトがなければ情報発信が弱くなる。どういった

**問** 浸水対策の基本計画に

新町、横内、須賀地区では、雨水管整備工事を実施している。さらに徳延、中原、豊田地区では土のうステーションを追加設置した。引き続き、雨水管の整備や雨水流出抑制施設の設置など自助、公助を組み合わせた減災対策を行う。

**問** 避難指示や避難勧告などの緊急を要する情報は、早め早めの発信が必要である。今後の取り組みを伺う。

**防災危機管理部長** 防災行政用無線や消防車両などによる広報をはじめ、テレホンガイドやほっとメールひらつか、ツイッター、緊急速報メールなど、さまざまな手段で情報を発信している。昨年の鬼怒川堤防の決壊による被害を教訓に、空振りや恐れず、危険が迫る前の早期に避難情報を発信していきたい。より一層、市民の生命と財産を守るために努めていく。

**問** 住民への周知や説明会の開催が重要であると思う

**問** 職員が、日々シティプロモーションを意識することが大事ではないか。

**企画政策部長** 庁内にはシティプロモーション担当から継続的に情報提供をしている。職員がシティセールスを意識し提案してもらい、結果につなげたい。

**問** 地域資源の有効活用や

## 清風クラブ

所 属 議 員



佐藤 貴子 議員



数田 俊樹 議員



諸伏 清児 議員



坂間 正昭 議員

が、今後の取り組みを伺う。

**防災危機管理部長** 洪水、内水、土砂に関する各種ガイドマップを作成、配布している。今後はホームページなどで、市や気象庁が発表する避難情報の意味や市民がとるべき行動などを分かりやすく解説するとともに、地域の訓練でも説明を行い、市民に理解してもらえよう努めていく。

**このほかの質問** 大学生消防団 平塚市教育大綱 婚活・ひらつか出会いプロジェクト 都市農業振興基本計画について

新規出店を促す施策をとるべきではないか。

**企画政策部長** 海岸エリアは、開放感にあふれ魅力的な個店も多く、湘南らしい雰囲気エリアである。ほかにも七夕まつりや湘南ベルマーレなど誇れる資源が数多くあるが、そうした資源を十分に活用できていない。今後さらに効果的な発信に努めたい。新規出店への施策は、制度との整合性を図りながら検討し、平塚駅南口も含めて市民と協働

**問** ひらつか元気応援ポイント事業の参加率が低い。ゲーム要素の導入や商店街で利用できる特典など制度の見直しを考えているか。

**福祉部長** 平成27年9月末現在、会員は288人、受け入れ機関は47ある。本市では、獲得ポイント数に応じて換金または元気応援セットと交換できる。他市でもいろいろな取り組みが検討され実現している。商店街と調整しながら、国が推進する健康ポイントも含めて、研究を進めたい。

しながら進めたい。

### 元気な高齢者を増やそう

**問** ひらつか元気応援ポイント事業の参加率が低い。ゲーム要素の導入や商店街で利用できる特典など制度の見直しを考えているか。

**福祉部長** 平成27年9月末現在、会員は288人、受け入れ機関は47ある。本市では、獲得ポイント数に応じて換金または元気応援セットと交換できる。他市でもいろいろな取り組みが検討され実現している。商店街と調整しながら、国が推進する健康ポイントも含めて、研究を進めたい。

**問** 国は、32年までに建物の耐震化率を95%とする目標を定め、指導の強化や計画的な耐震化の促進を図るとしているが、本市での対応を伺う。

**防災危機管理部長** 国・県と連携した支援制度の整備や高齢の建物所有者への普及啓発の強化が重要である。自治会や市民団体などと連携して情報提供していく。

**問** 国は、32年までに建物の耐震化率を95%とする目標を定め、指導の強化や計画的な耐震化の促進を図るとしているが、本市での対応を伺う。

**防災危機管理部長** 国・県と連携した支援制度の整備や高齢の建物所有者への普及啓発の強化が重要である。自治会や市民団体などと連携して情報提供していく。

### 地震を迎え撃つ取り組み